

税理士会の要望実現のために活動しています



近畿税政連

令和4年(2022年)

11月10日

第261号

〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目5番4号 電話(06)6944-9040 FAX(06)6944-9050
URL <http://kinzeisei.jp/> e-mail info@kinzeisei.jp

発行所 近畿税理士政治連盟
発行人 久保直己//編集人 矢田善久



瑠璃光院の色付き (京都市左京区)

撮影：小西 里枝 (和歌山支部)

■ 大臣等就任表敬訪問	8
■ 令和5年度税制改正要望	9



ロシアによるウクライナ侵攻が始まってから半年以上が経ちました。いまだ収まる気配を見せていない状況の中、われわれの目に触れる機会は徐々に減ってきているように感じます。凄惨な状況は侵攻当初より膠着状態である現在

の方がひどいのではないのでしょうか。しかし、積極的に情報を取りにいかない限り、テレビで放映される制限された情報しか得られなくなっています。ロシアは北方領土において上陸阻止軍事演習を大々的におこなったという報道がありました。これはごく当たり前のことで、日本に対して、手薄となっている極東地域の防衛のための示威行動を見せているだけです。これをチャンスと捉えて北方領土を

個々の活動の重要性

奪還しにくるとプーチンは考えているからです。戦国時代なら、いや現在でも紛争状態ならごく普通に考える事でしょう。日本は平和状態、ロシアは紛争状態、そこに立つ危機意識はおのずから違ってきます。

税政連活動も一種の税理士制度防衛作戦のようなものです。いかにして税理士制度を発展させ、また他士業からの浸食を防ぐための活動ではないのでしょうか。われわれの制度は法律によって成り立っています。そのため政治家による立法の力が必要になってきます。

社会的存在意義をいかに示すか、社会的信頼をいかに築くか、そのためには個々の会員先生方の日々の活動が最も重要であるように思います。

(副幹事長 小寺隆弘)

主張

収支計算書からみる財政基盤

近畿税理士政治連盟 副会長 山本眞市

近畿税理士政治連盟の令和 3 年度収支計算書からみると、収入の部は、会費収入約7,200万円、その他収入約900万円の合計約8,100万円となっています。また、支出の部は経常経費約1,800万円、政治活動費約5,700万円の合計約7,500万円となっており、収支差額は約600万円の黒字となっています。なかなか良い収支計算書にみえます。



山本眞市 副会長

しかし、中身を覗いてみると支出の部の組織活動費のうち大会費については、コロナ禍のもと、大幅な縮小となり、例年なら発生するであろう約460万円の支出が約50万円の支出となっています。国会対策費についても同様、活動が自粛または縮小となった部分もかなりあり、各科目とも大幅な支出減となっています。通常であれば収支差額が逆転しているのではないかと簡単に推測できる状況であります。

次に過去 5 年間の推移を調べてみますと

	会費収入	収入合計	支出合計	収支差額
平成29年度	7,700万円	8,700万円	9,100万円	▲400万円
平成30年度	7,600万円	8,600万円	8,900万円	▲300万円
令和元年度	7,500万円	8,400万円	8,400万円	0万円
令和 2 年度	7,400万円	7,800万円	6,900万円	900万円
令和 3 年度	7,200万円	8,100万円	7,500万円	600万円

となっています。特に支出の多い平成29年度は衆議院議員総選挙、平成30年度は参議院議員通常選挙のあった年度です。各年度ごとに会費収入が減少しているのがわかります。赤字に対しては、平成28年度にお願いした50周年記念募金の一部を取崩して補填しています。

会計年度は、7月1日より翌年6月30日までの1年ですが、7月1日の会員数は約15,000名ですので、約36%の会員に会費を納めていただいておりますが、約64%の会員が会費未納というのは非常に残念なところがございます（近畿税理士政治連盟は、近畿税理士会に入会している税理士会員は、その資格において会員となると定めています（近畿税理士政治連盟規約第6条））。

また、税理士会は税務行政その他租税又は税理士に関する制度について権限のある官公署に建議し、又はその諮問に答申することができることと税理士法第49条の11に規定されています。しかし、税理士会は特別法人であり、陳情などの政治活動はできません。税政連は税理士会のこれらの建議を実現させるために活動している政治団体であります。

現在、当政治連盟には衆参合わせて43の「税理士による国会議員等後援会」があります。この後援会を通じて理解のある国会議員等に対して、選挙支援活動をおこなうと共に陳情活動をおこなっております。

会員皆様方のご意見もごさいましょが、皆様方の会費の納入（年間13,200円）が大きな財政基盤を支えています。また新しく税理士制度発展募金（一口5,000円）もお願いすることにもなりますがより一層財政基盤を強固なものにするためにも何卒よろしくごさいましょ。

目次

焦点	1	令和 5 年度税制改正要望	9
主張	2	かんさいすずめ	10
支部連ニュース	3	銀河系	10
大臣等就任表敬訪問	8		

支部連ニュース

大阪府第2支部連

大阪府第2支部連合会第27回定期大会が9月2日、ホテルモントレ ラ・スール大阪で開催された。来賓として中山泰秀前衆議院議員・佐藤ゆかり前衆議院議員・松川るい参議院議員・伊佐進一衆議院議員、中山泰秀後援会から新田博之会長、近税政本部から橋本光世総務会長が出席した。



林善一幹事長が司会となり開会が宣言された。坂本善哉会長があいさつで、新執行部への激励に対する謝意と懇親会中止の旨を述べた。

続いて、坂本会長を議長に選出して議案の審議に入り、すべての議案が可決承認された。

その後、来賓の橋本総務会長から、すべての会員に対して税理士制度発展募金のご協力と会費納入のより一層のご支援をお願いしたいとのあいさつがあった。祝電披露の後、司会者が閉会を宣し、定期大会は終了した。

引き続き国政報告会が開催され、中山前議員は医療と消費税、ベンチャーファンドについて意見を述べた。佐藤前議員は、貯蓄から投資へ、資産所得倍増計画のためのNISA制度の見直しのお話をした。松川議員は、台湾有事シミュレーションとアメリカのペロシ議長の台湾訪問について意見を述べた。伊佐議員は、財政と社会保障について日本の強みである社会保障制度を生かすべきと述べた。

(城東支部 東慎吾)

大阪府第3支部連

開催日 令和4年8月24日

場所 吹田さんくすホール

来賓 とかしきなおみ 前衆議院議員
脇阪説男 近税政総務副会長



司会の米田益男副幹事長の開会宣言により定期大会が開催された。最初に、古川裕会長より「税政連に対する会員先生方の日頃からのご協力と後援会へのご支援に感謝を申し上げる。我々の第3支部連は、茨木・吹田・豊能の3支部から成るが、非常に残念なことながらどの支部も会費収納率が前年よりもかなり下がってしまった。支部連としてはこの問題を何とかしなければならぬと考えているので、是非未納の先生方への声かけに更なるご協力をお願いしたい」とのあいさつがあった。

九鬼章泰会員が議長に選任され議案審議に入り、すべての議案が可決承認された。

議案審議終了後、来賓のとかしき前衆議院議員より「今後とも変わらぬご支援のお願い」があった。また、脇阪総務副会長より「税理士制度の維持、発展のためには税政連による政治活動が必要」とあいさつがあった。司会より現職、前職各衆議院議員からの祝電と久保直己近税政会長のお祝いのメッセージが代読披露された。

最後に山内幹雄副会長より閉会のあいさつがあり、定期大会は終了した。

(茨木支部 藤本正実)

大阪府第 4 支部連

開催日 令和 4 年 9 月 8 日

場 所 ホテルアウィーナ大阪



石橋明史副幹事長の司会のもと、後藤淑子副会長により開会宣言があり、定期大会が開催された。高岡稔会長より、この大阪府第 4 支部連の定期大会は 3 支部が集まる貴重な場であり、今年こそは定期大会前後の研修会と懇親会を開催したかった。今後、政治の世界がどのようになっていくかわからない状況で税政連として、また税理士としてどう活動していくか、皆様から集めた会費をどのように使っていくかを議論していくことが大切であるとのあいさつがあった。

次に、金田光世副会長が議長に選出され、嶋田薫幹事長により議案が詳細に説明され、山口裕監事より監査報告があった。議事に入り、第 1 号議案から第 4 号議案まで、原案どおり、すべての議案について可決承認された。

議事終了後、裏野榮士副会長より、コロナ禍により懇親会が開催できず残念だったが、来年度の収支予算案には懇親会費用を含めた金額を記載できることを願うばかりであると、閉会のあいさつがあった。

今回も役員のみで 18 名という少ない参加人数で定期大会が開催され、その後の懇親会もなく閉会となった。来年こそはもっと多くの会員に参加いただける状況になっていることを期待したい。

その後、司会者が閉会を宣し、定期大会は終了した。
(東大阪支部 首藤直樹)

大阪府第 5 支部連



9 月 1 日、ホテルレイクアルスターアルザ泉大津で定期大会が開催された。今年も昨年同様コロナ禍の影響を受け、極力人数を絞った開催となった。支部連会長、幹事長、会計、副会長、監事、議長、議事録署名人のみの 12 人の出席でかなりさびしい定期大会となった。当初は、コロナ禍前のように、会員の皆様に集まっていたの国政報告会及び懇親会をおこなう段取りだったので、18 時からの開催だった。原正人支部連会長は開会のあいさつで、この 7 月 10 日に実施された第 26 回参議院議員通常選挙に触れ、会員の協力により、多くの推薦候補者が当選できたことに謝辞を述べられた。その後、議長に泉大津支部の幸野陸紀会員が就任され、速やかに議案審議に入った。スムーズな議事進行の末、すべての議案が可決承認された。久保近税政会長よりのご祝辞を原会長が代読した後、閉会のあいさつを泉大津支部の笠井慎五会員がおこない定期大会は無事終了した。

大会終了後、懇親会が開催された。開会のあいさつと乾杯は岸和田支部の中川恵子会員がおこない、和やかな懇親の場となった。中締めのおいさつは、泉佐野支部の木戸朋宏会員がおこなった。税政連の活動を考えたとき、会費がいかに重要であるか、会費の収納率を向上させるためには、税政連のことを理解し、その意義をわかってもらえる会員の増強が必要であると述べ、懇親会は終了した。

(泉大津支部 笠井慎五)

京都府支部連

京都府支部連合会の第40回定期大会が9月2日、ホテルグランヴィア京都において開催された。来賓として近税政本部からは金子紀行副会長、原綱宗副会長、近税会より富村将之副会長、近税会京都府支部連より安井伸夫会長が出席した。

また、京都府支部連が推薦・後援する勝目康、前原誠司、泉健太、田中英之、本田太郎の各衆議院議員、西田昌司、福山哲郎、吉井章の各参議院議員、西脇隆俊京都府知事、門川大作京都市長が来賓として出席した。



汐瀬雅彦副会長が開会を宣し、コロナ自宅療養期間の短縮見直しを要望すると述べた。

木村敏之支部連会長が今年度における衆議院選挙、京都府知事選挙、参議院選挙の全てにおいて、推薦者全員が当選したことを報告した。

つづいて議長に坂部浩会員が選任され、議事に入り、慎重審議の結果、すべての議案が可決承認された。

来賓からは、今般の税理士法改正実現に対する感謝の辞、税理士制度発展募金の創設、経済社会のデジタル化・電子化に伴う業界としての対応などの内容のあいさつがあった。

国会議員の各氏と京都府・市の首長が祝辞を述べ、なかでも最後に登壇した泉健太立憲民主党代表にはSP数名が議場正面・出入口を厳重に警備し、会場は物々しい雰囲気にも包まれた。

平田利男副会長の閉会のことばで定期大会は無事に終了した。 (上京支部 東智之)

兵庫県第1支部連

9月3日、神戸三宮東急REIホテルにて、兵庫県第1支部連合会第41回定期大会がおこなわれた。3年ぶりにコロナ感染対策を実施したうえで会場開催した。今中明子幹事長の司会のもと、大原利弘神戸支部長、寺内設昭支部連会長のあいさつにより開会し、議案は全て可決承認された。役員改選により蝉川寛嗣支部連会長が選任され、新体制による運営が始まった。



来賓には、多くの議員、議員代理の出席があり、日頃の支援に感謝を表明されるとともに、次のようなあいさつがあった。

- 盛山正仁衆議院議員「消費税インボイス制度への改正要望が実現できるよう尽力する」
- 関義弘衆議院議員「税制改正、経済対策をはじめ、皆さんの要望を実現できるようがんばる」
- 伊藤孝江参議院議員「この度就任した文部科学大臣政務官として、教育分野に力を入れる」
- 山田賢司衆議院議員「この度就任した外務副大臣として、様々な分野に取り組んでいく」
- 加田裕之参議院議員「中小企業の実情を把握する先生方の声に傾聴し政策実現に尽力する」
- 後安宏彦近税政副会長「新会長のもと、諸課題にも取り組み、活発な税政連活動を」
- 光齋信治神戸税理士協同組合副理事長「税理士会の経済面は協同組合、政治面は税政連、共に制度の維持発展に努めたい」

最後に桑原幸司灘支部長による閉会のあいさつにより、定期大会は終了した。

(芦屋支部 吉田智代)

兵庫県第 3 支部連

開催日 令和 4 年 9 月 2 日
 場 所 尼崎商工会議所
 来 賓 大串正樹 衆議院議員
 伊田憲司 近税政副会長



定期大会は、佐藤寛会員の司会のもと、林文彦支部連副会長による開会宣言があり、坪内祐二支部連会長より支部連活動に対する理解と協力をお願いの旨のあいさつがあった。続いて岩泉周治幹事長が議長に選出されて議事に入り、すべての議案が慎重審議のもとで原案通り可決承認された。来賓の伊田近税政副会長より、久保直己近税政会長からのメッセージ代読および税政連活動に対する協力と支援をお願いしたいとあいさつがあり、最後に小塩明支部連副会長の閉会のことばで定期大会は終了した。

大串議員による国政報告会では、昨年10月の衆議院議員選挙での支援のお礼と、衆議院議員4期目として今年8月の内閣改造でデジタル副大臣兼内閣府副大臣を拝命したことを受け、設立から1年のデジタル庁での任務は今後の日本の流れを考えていく重要な役職である。マイナンバーカードの普及率を高め、医療分野のデジタル化や世界でも安全性の高い個人認証システムの仕組みの更なる活用によって利便性が高まる政策など、今後良い結果が出せるよう、しっかりと取り組んでいきたいと報告があった。

その後の懇親会では、歓談中に大串議員と支部連会員との名刺交換もあり、和やかな雰囲気の中で閉会した。 (伊丹支部 今田幸史)

兵庫県第 4 支部連

開催日 令和 4 年 9 月 5 日
 場 所 総社会館 (播磨国総社射楯兵主神社)
 来 賓 松本たけあき 衆議院議員
 長谷川 隆史 近税政副幹事長



兵庫県第 4 支部連合会第41回定期大会は、丸子輝大幹事長の司会のもと、北岡昭会長による開会のあいさつがあった。

続いて議長に家根次代代議員が選出され議題の審議に入り、すべての議案について原案通り可決承認した。議案審議終了後、松本議員および長谷川副幹事長よりあいさつがあった。

【松本たけあき衆議院議員】

『昨年の衆議院議員選挙へのご協力に感謝申し上げます。引き続き自民党税制調査会の役員を務めることになりましたので、現場の声を代弁している税の専門家としての皆様からのご要望をできる限り実現していけるよう努力いたします。また、国と地方や省庁を横断化したデジタル化、岸田総理の言う「新しい資本主義」実現のための様々な支援・助成措置への対応等、顧問先へのご支援をお願いいたします』

【長谷川隆史近税政副幹事長】

『本年度の税制改正への陳情ですが、インボイス制度の円滑な導入、中でも免税業者が市場から排除されないような対応等をお願いしておりますのでご協力をお願いいたします』

最後に、原満弘副会長による閉会のあいさつがあり定期大会は閉会した。

(姫路支部 板倉宏行)

奈良県支部連

開催日 令和4年8月27日
 場所 春日ホテル(奈良市)
 来賓 奥野信亮 衆議院議員
 堀井 巖 参議院議員
 上松康員 近税会奈良県支部連会長



定期大会は寺脇幹事長の司会で始まり、景山良一会長が議長となり、全議案が異議なく可決承認された。その後、各議員へ後援会会長から税制改正に関する要望書が手渡された。

奥野議員のあいさつ：税制調査会では、今年は相当大きなことを考えている。特に所得税とか法人税の問題を含めて、税理士の皆さん方のご意見をしっかりと拝聴して、仕事に励みたい。今年一年宜しく願い申し上げます。

堀井議員のあいさつ：税理士の先生方に政治活動を支えていただいている点に、心より感謝申し上げます。また、要望書については、しっかりと実現していくことが、ご支援をいただいている我々の使命だと存じている。より良い税制をつくり、税理士の先生方が社会の中でより大きな役割を担い、納得いただけるよう、自民党の他の議員に対しても活動していくので、今後とも宜しく願い申し上げます。

(奈良支部 西口まゆり)

「大阪府第1支部連」、「兵庫県第2支部連」については、書面決議にて定期大会をおこないました。

和歌山県支部連

開催日 令和4年8月26日
 場所 和歌山県税理士会館



定期大会は、藤原光男会員の司会により開会し、出席代議員数確認にあたり、今年もコロナ禍の影響により書面決議とした経緯の説明があり、書面を提出した代議員の数が報告された。

次に、^{とねまひろ}刀禰真大支部連会長より、今年もコロナ禍により来賓なし、国政報告会なし、懇親会なしの大会となった旨のあいさつがあり、また7月におこなわれた参議院選挙の際には、多くの会員のご協力により、和歌山選挙区の推薦候補者が当選したことに対し感謝申し上げるとあいさつがあった。

続いて議案審議に先立ち、議長が選任された後、議事録署名人が選任され、議案審議に入った。議案について説明がなされた後、その承認について各代議員から事前に提出があった書面決議の内容を確認した結果、全議案について可決承認された。

議長は、すべての議案審議が終了した旨を告げ、議長席を降壇した。

最後に堀博充幹事長が閉会のあいさつを述べ、定期大会は閉会した。

昨年と同様に、国会議員による国政報告会や税制改正に関する要望書の手交などの機会が設けられなかったことは残念だったが、来年こそ各議員との交流をより一層深める場が設けられることを期待したい。

(和歌山支部 堀博充)

滋賀県支部連

滋賀県支部連の第41回定期大会が9月2日ホテルボストンプラザ草津びわ湖で開催された。来賓として小鍬隆史参議院議員、上野賢一郎衆議院議員、大岡敏孝衆議院議員、武村展英衆議院議員、近税政より久保直己会長が出席した。

来賓、代議員が一堂に会して開催される定期大会としては3年ぶりの開催であった。地村秀磨副幹事長の司会のもと、竹中弘副会長の開会宣言に始まり、織戸英信会長のあいさつの後、



和澤清隆会員が議長に選出され直ちに議事に入った。古澤宏之幹事長より第1号議案から第4号議案まで詳細な説明があり、各議案とも全て原案通り可決承認された。

続いて、久保近税政会長からあいさつがあり、昨年の衆議院議員選挙及び先般の参議院議員選挙では滋賀選挙区の近税政推薦候補が全員当選できたことへの感謝の言葉を述べ、これは日頃から近税政、支部連、後援会と国会議員が組織的に綿密な連携をしている結果であり、今後も税政連活動への期待を述べた。

来賓の小鍬議員のあいさつがあり、先般の参議院議員選挙で滋賀全域からの支援に感謝の言葉が述べられた。その後、滋賀県のコロナウイルス感染対策基準に則って懇親会が開催され、上野議員、大岡議員、武村議員の参加とあいさつがあり、出席者一同と終始和やかな雰囲気の中、親しく歓談がおこなわれ、盛会のうちに散会となった。

(草津支部 吉川孝二)

大臣等就任表敬訪問 (9月20~21日)

第2次岸田改造内閣において大臣等に就任された当連盟関係国会議員(前号第260号14頁参照)を表敬訪問した。



高市早苗 経済安全保障担当大臣



伊佐進一 厚生労働副大臣



大串正樹 デジタル副大臣



山田賢司 外務副大臣



小林茂樹 環境副大臣



伊藤孝江 文部科学大臣政務官

令和5年度税制改正要望

9月4日に立憲民主党・国民民主党兵庫県連(We b)、9月12日に公明党大阪府本部、10月1日に立憲民主党大阪府連(We b)との懇談会にそれぞれ参加し、10月13日～14日にかけては国会議員を訪問して、一斉陳情をおこなった。



公明党大阪府本部



吉井章 参議院議員



松本剛明 衆議院議員



杉久武 参議院議員



国重徹 衆議院議員



伊佐進一 衆議院議員



谷川とむ 衆議院議員



泉健太 衆議院議員



勝目康 衆議院議員



山本香苗 参議院議員



北側一雄 衆議院議員



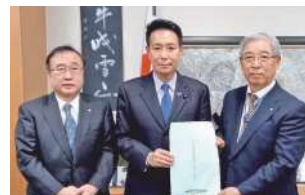
福山哲郎 参議院議員



うえの賢一郎 衆議院議員



西田昌司 参議院議員



前原誠司 衆議院議員



佐藤茂樹 衆議院議員



松川るい 参議院議員



武村展英 衆議院議員



堀井巖 参議院議員



奥野信亮 衆議院議員



石田真敏 衆議院議員



伊藤孝江 参議院議員



こやり隆史 参議院議員



大串正樹 衆議院議員



盛山正仁 衆議院議員



池下卓 衆議院議員



田中英之 衆議院議員



本田太郎 衆議院議員

大切な命のために



ペットを飼われておられる方も多いかと思えます。その中でも代表的なものは犬と猫ではないでしょうか。2021年度の飼育頭数は、犬が710万匹、猫が894万匹という統計結果が出ています。コロナ禍の外出制限、在宅勤務の増加などで、家で飼育することが多い猫が微増し、犬は減少しているそうです。また、ペット関連産業もコロナ禍でも堅調に推移しており、多様なサービスも展開されています。

家族の一員やパートナーとして大切に飼われているペットがほとんどだと思いますが、残念なことに人間の手により奪われていく命もあります。2020年度に全国の保健所や動物愛護センターなどに引取られた数は、犬が27,635匹、猫が44,798匹、その内人間の手によって命を終えた犬は4,059匹、猫は19,705匹います（環境省公表資料より）。

そこで、失われていく命を減らそうと保護団体やボランティアが、保健所などに持ち込まれた犬猫を引き取り、飼い主に返還したり、新たな飼い主に譲渡したりする取り組みが全国でおこなわれています。しかしその活動にも限界があり、まだまだ多くの命が失われています。

大切な命を守るためには、まず飼い主や国民の意識の向上が必要で、命に対して責任をもち、適正な世話と管理を終生おこなうこと、悪質な販売業者を排除することが大切です。次に無責任な遺棄により野良化した犬猫にむやみに餌を与えず、避妊去勢処置を施し、これ以上、野良犬、野良猫を増やさないことも大切です。また、保護犬、保護猫の譲渡により命を救うことも可能です。

今は住宅事情などで叶いませんが、いつか私も保護猫を譲り受け、猫に囲まれた生活を送ることを夢見ています。もちろん責任と自覚をしっかり持って。 (下京支部 吉田和之)

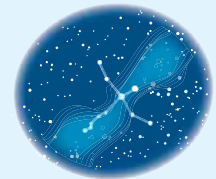
近税政本部のうごき

- 第 2 回広報委員会 (9月15日)
 - 「第 8 回川柳・書道コンテスト」について
 - 機関紙第259号 (8月号) の批評
 - 機関紙第260号 (10月号) の編集について
 - 機関紙第261号の編集企画に関する件 他
- 第 2 回推薦審査会 (書面審議) (9月16日)
 - 和歌山県知事選挙における推薦候補者の決定について
- 第 3 回広報委員会 (10月6日)
 - 令和 4 年度運動方針及び委員会活動方針について
 - 機関紙第260号 (10月号) の批評
 - 機関紙第261号 (11月号) の編集について
 - 機関紙第262号の編集企画に関する件
 - 次回コンテストについて 他

「表紙」題字：(作=小倉さやか 上京支部)

「焦点」題字：第 4 回川柳・書道コンテスト
書道テーマ部門 入選
(作=吉田廣彰 葛城支部)

銀河系



黄金の 3 年間

夏の参院選を自民党大勝で乗り切った岸田政権は、衆議院を解散しない限り向こう 3 年間は国政選挙の洗礼を受けない「黄金の 3 年」を手にした。昨今の物価上昇は日銀の金融緩和によって円安が助長されていることもあるが、円安はデメリットだけではなく、輸出拡大の恩恵が受けられるメリットがある。輸出拡大を通じて収益を上げれば、そこから賃上げに働くことができるだろう。しかし、経済社会の構造変化に応じて税制が適切に対応していかなければ、新たな不公平が生じるなどの弊害を招くことになる。税制は、納税者の経済活動における選択を極力歪めないよう常に時代に適合するものとすべく、その見直しを継続しなければならない。果たして本当に「黄金」なのか、岸田政権は納税者からさらなる信頼を得るための施策を行っていく努力が求められる。 (大津支部 小川宗彦)

税務便覧

令和4年分確定申告のための 確定申告業務の必携アイテム

11月末発売予定。是非お買い求めください。
お申込み、お問い合わせは下記へお願い致します。



わかりやすい
所得税・贈与税・消費税・住民税・事業税の申告
及び
相談業務を迅速かつ的確にサポート!!

- 特色**
- ① 確定申告業務に必要な事項がコンパクトに収録されています。
 - ② 収録項目を縦覧しやすいように見開き型を採用しています。
 - ③ 見やすさを追求したカラー印刷です。
 - ④ 最新の税制改正に対応

監修
 日本税務会計学会 税法部門副会長
 税理士 宮森 俊樹
 A4判・総14頁 定価 420円(税込)

出版元/販売元
京都税理士協同組合
 〒604-0943 京都市中京区麩屋町通御池上ル上白山町258-2
 TEL 075-222-2311 FAX 075-222-2355
 mail kyozei@kyozei.or.jp

税理士(法人)事務所・関与先繁栄のパートナー!
仕事やプライベートに使う便利な組合員特典!



提携企業をご利用ください!

税理士業務関連

報酬自動支払制度、OA機器
オフィス家具、印鑑、ゴム印、名刺
書類溶解処理、M&Aの仲介 など



不動産業務関連

建築請負・売買、増改築、リフォーム
仲介、鑑定、評価 など



共済・損害保険関連

小規模企業共済、セーフティ共済
火災保険、自動車保険
旅行保険 など



生活関連

宝飾品、衣料品、生活雑貨
セキュリティ、葬儀請負
人間ドック、脳ドック、PET検診
衣類等のクリーニング など



レクリエーション関連

国内外パックツアー、フィットネス
ホテル・温泉旅館宿泊
観劇チケット など



ゴルフ関連

ゴルファーズ保険、ゴルフ会員権売買
プレー料金の割引



カーライフ関連

カーリース、中古車査定買取
自動車保険



WEB販売

書籍、家電・PC、筆記用具 など



その他

クレジットカード、ローン、資格取得
胡蝶蘭の販売 など



大阪・奈良税理士協同組合